

問1 慈照寺銀閣の東求堂同仁斎に見られる、畳や床の間などを備えた現代の原型となる部屋を何という？

1. 床の間 2. 和室 3. 書院造 4. 畳

問2 鎌倉幕府の滅亡後、後醍醐天皇が始めた天皇中心の政治を何というか？

1. 建武の新政 2. 寛政の改革 3. 天保の改革 4. 明治維新

問3 借金の帳消しなどを求めて、高利貸しなどを襲撃した農民らの蜂起を何という？

1. 国一揆 2. 島原の乱 3. 一向一揆 4. 土一揆

問4 室町時代、農民たちが借金の帳消しを求めて、高利貸しなどを襲撃した出来事を何という？

1. 一向一揆 2. 国一揆 3. 土一揆 4. 島原の乱

問5 室町幕府が、中国の明と行っていた貿易のことを何という？

1. 勘合貿易 2. 朝貢貿易 3. 南蛮貿易 4. 朱印船貿易

問6 足利義政の後継者争いをきっかけに発生した応仁の乱は、何年間続いた？

1. 12 2. 11 3. 10 4. 15

問7 1428年に正長の土一揆が初めて発生した場所はどこですか？

1. 伊勢国 2. 山城国 3. 大和国 4. 近江国

問8 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？

1. 光厳天皇 2. 足利義満 3. 後醍醐天皇 4. 足利尊氏

問9 将軍を補佐し、幕府の政治を統括する最高位の役職を何という？

1. 管領 2. 引付衆 3. 評定衆 4. 守護

問10 北山文化の特色の一つである、伝統的な文化を何という？

1. 武家文化 2. 公家文化 3. 神道文化 4. 町人文化

問11 室町幕府の第3代将軍で、明との間で勘合貿易を始めた人物は誰？

1. 足利尊氏 2. 足利義教 3. 足利義満 4. 足利義政

問12 日明貿易などで繁栄した自治都市「堺」は、現在の何という都道府県に位置している？

1. 京都府 2. 神奈川県 3. 福岡県 4. 大阪府

問13 琉球王国が中継貿易を行う上で、最も重要な窓口となっていた当時のアジアの大国を何という？

1. 中国 2. タイ 3. 朝鮮 4. 日本

問14 室町時代に浄土真宗の門徒が守護大名を倒し、約100年間にわたって自治を行った場所はどこ？

1. 大和国 2. 加賀国 3. 山城国 4. 伊賀国

問15 現在の石川県である加賀国で、浄土真宗の門徒らが守護大名を倒した一揆が起こったのは何年ですか？

1. 1467年 2. 1582年 3. 1488年 4. 1336年

問16 鎌倉府の長官として、足利氏の一族が世襲して関東地方の軍事や行政を司った役職を何という？

1. 奥州探題 2. 京都管領 3. 九州探題 4. 鎌倉公方

答え合わせ・解説

問1	答え 2 和室	室町時代に発達した書院造は、床の間や違い棚、障子、襖、そして部屋全体に敷き詰められた畳が特徴です。これが慈照寺銀閣の同仁斎という部屋に結実し、後の住宅様式の基本となりました。
問2	答え 1 建武の新政	後醍醐天皇は、天皇中心の政治を行うために、公家を重用し武士の意見を十分に聞き入れない政策を行いました。京都を中心としたこの政治体制は、武士の土地の権利を不安定にしたため、多くの武士の不満を買う結果となりました。このため、わずか2年半ほどで崩壊しました。
問3	答え 4 土一揆	「土一揆（つちいっき）」は、経済的な困窮に追い込まれた農民たちが団結して起こした反乱です。特に、高利貸しを営む土倉や酒屋を襲撃して、借用書を破棄させる「徳政（借金の帳消し）」を幕府に要求しました。
問4	答え 3 土一揆	土一揆は、主に農民たちが団結して、高利貸しである土倉や酒屋を襲撃し、借用書を破棄させるなどして借金の無効を訴えた運動です。
問5	答え 1 勘合貿易	勘合貿易は、倭寇の取り締まりを条件に明との間で行われた公貿易です。幕府や一部の大名が主導し、銅銭や絹、美術品などを輸入しました。これにより莫大な富を得た幕府は、室町文化の発展を支えることになりました。
問6	答え 2 11	この戦乱は11年もの長期間にわたって続きました。京都の主要な施設や町並みはことごとく焼き払われ、幕府の権力は形骸化しました。全国の守護大名が東軍・西軍に分かれて戦ったため、地方にも戦火が広がり、秩序が大きく崩れました。
問7	答え 4 近江国	1428年に近江国（現在の滋賀県）の馬借らが蜂起したのが正長の土一揆の始まりです。馬借とは馬を使って荷物を運ぶ運送業者で、この時代の流通において重要な役割を果たしていました。彼らが酒屋や土倉を襲撃し、借金の破棄を求めた動きは瞬く間に近畿地方全体へと広がりました。
問8	答え 3 後醍醐天皇	この武士たちの不満を受け、足利尊氏が後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏は京都を制圧して新たな天皇を擁立し、後醍醐天皇は吉野へ逃れて「南朝」を開きました。これに対して京都の尊氏側を「北朝」と呼び、以後約60年にわたり両者が争う時代となりました。
問9	答え 1 管領	管領は、将軍の下で幕政を統括する最高の役職です。特に斯波・細川・畠山という有力な守護大名の家系が交代で就任する「三管領」と呼ばれる制度が定着しました。
問10	答え 2 公家文化	北山文化の大きな特徴は、平安時代からの優雅な「公家文化」と、新興勢力である武士たちの「武家文化」が融合した点にあります。金閣寺に代表される建築や、連歌、能の発展などにおいて、両者の美意識が調和しました。
問11	答え 3 足利義満	明との貿易を望んだ義満は、明側からの「倭寇の取り締まり」という条件を受け入れ、勘合貿易を開始しました。これにより日本は多大な経済的利益を得ただけでなく、中国の文化や技術を取り入れるきっかけとなりました。
問12	答え 4 大阪府	堺は大阪湾に面した港町であり、その立地の良さを活かして海外との交易で巨大な富を蓄積しました。特に日明貿易が盛んになると、堺の商人たちはこの利益を独占し、政治的にも強大な力を持ちました。
問13	答え 1 中国	琉球王国は明の皇帝から認められることで、東南アジア諸国との貿易を自由に行うことができました。中国から手に入れた陶磁器や絹織物などを、日本や東南アジアへ運ぶことで、東アジアにおける物流の要所としての役割を果たしました。この貿易ルートのおかげで、琉球王国は短期間で急激な経済発展を遂げることができました。
問14	答え 2 加賀国	加賀国では、蓮如の布教によって浄土真宗が深く浸透しました。門徒たちは結託して守護大名を追放し、その後約100年間にわたり、「百姓の持ちたる国」と呼ばれるほど、民衆自身による自治を実現しました。
問15	答え 3 1488年	1488年、本願寺の教えによって強く結びついていた門徒らは、加賀の守護であった富樫氏に対して大規模な一揆を起こしました。これにより守護を追放し、武士の支配から脱却しました。
問16	答え 4 鎌倉公方	鎌倉公方は、室町幕府の将軍の親族が任命されることが多く、関東における事実上の将軍代理として君臨しました。関東管領という補佐役をつけ、独自の行政権や軍事動員権を行使することで、強力な地方政権のような形をとっていました。